

「クリーン作戦」

豊後高田市立小・中一貫校戴星学園4年 八木 ガルシア 玲名

今日は地いきの人と行うクリーン作戦の日です。朝ふっていた雨もあがり、地いきの方が学校に集まってきました。

わたしは、ひさしぶりのごみ拾い活動なので、ごみがいっぱいあるだろうなあと思いながら出発しました。歩き始めると、意外にごみはなく、道路がきれいでした。予想とちがっているのも、不思議に思い、いっしょに歩いてくださっている藤原さんに、道路がきれいな理由を聞いてみました。すると、

「この道は、通学路になっているところだから、通る人が子どもたちにははずかしいところを見せられんと思って、マナーを守っているんだよ。」

と答えてくださいました。ごみは見つかりませんが、この道路には、たくさんの花がさいていました。畑のはしっこわすかなすきまには、めずらしい花がさいています。そして、へいをこえてオレンジ色のかずらの花がさいていました。

ところが、帰り道には、たばこのすいがらが落ちていました。わたしは、どんな小さなものも見落とさないようにして、拾って歩きました。そして、ごみがちょっとおちているだけで、歩いているときの気持ちがずいぶんちがうものだなと思いました。

このクリーン作戦を通して学んだことは、よい生活がおくれるのは、自分の生活のことだけでなく、ほかの人のことを考えてくらすことの大切さです。

わたしたち小学生が通ることを考えて、ごみのない、花いっぱいの道路にしてくれている地いきの人がいます。たばこのすいがらを、めんどくさいから道路にすててしまう大人の人もあります。自分に関係ないかもしれない人のことでも、思いやりをもってくれていると、とても気持ちのいいことが、道路を歩いていてもわかりました。きれいな道路にすることは、住んでくれる人だけでなく、通る人すべてに思いやりのあることなのだと考えます。だから、わたしは「ごみがあったら拾う」「ごみは、ごみ箱に捨てる」という当たり前のことができる人になりたいと思います。

クリーン作戦の終わりの会では、他の班の人たちも、

「たくさんのごみを拾うことができ、とてもいい気持ちになりました。」

と感想を発表していました。自分たちの力で、ほかの人の気持ちがよくなるようにできたからだと思います。これからも、だれかのためになることをすすんで行動できるようにしたいです。